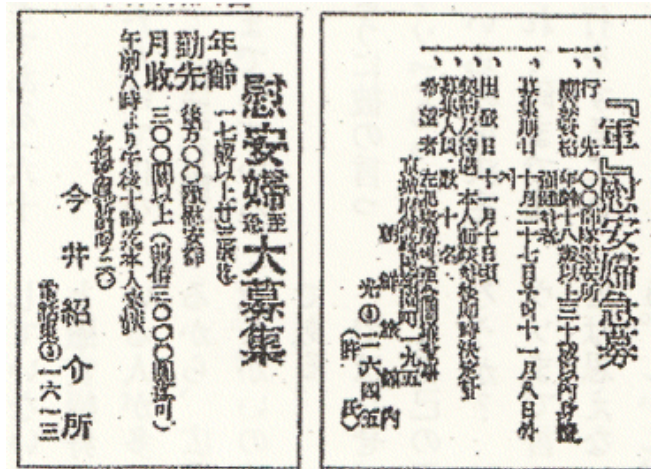


付属書

(注：提出文書には新聞名、日付、タイトル、概要等、内容が分かるように英文で付している。)

図 1



桃色の巢を衝く

聯絡係の娘に良心の目覺め

名士の假面を剥ぐ

十二日、原宿本町に櫻井切つた別荘に少女が脱け込み、きながら喜びを求め、準備を聞いて見ると、意外にもこの少女の需要に大規模の桃色の巢が存在してあることが判明した。右の少女は京成四村町二百六番館通明徳町方面で、昨年三月同家に女中として住み込みが、主人

娘は女ながらもしたまふ者で、京城府内のデパートガール、質屋、女車、舞臺など華人数十名を擁する。隣りて共々會社役員など一課人士に控れ、そ自宇をアゲトに臨陣、右の女を彼らの情に、其の相手に世間して、彼等から世評を取ら、これが露骨には、開脚の女中を、使用してゐるものである。その強弱關係の露は成長すると

共にこの醜態を、羞恥に不安を感じ、逃走を企てたが、密に発見され、以て其後、分たす換る處の處評を受けつゝに、堪へかねて十二日、本町通に脱け込みを求めたのである。同輩では、既に巢をほはじめ、味を、且、敵軍中であるが、取調への、露骨と、同様に、同様の、露骨が、剥がされるものと見られてゐる。

農村の娘に毒牙

巧みに誘拐しては賣飛ばす
恐るべき全貌判明

既報「京畿西大同路で感得した母」
誘拐事件はその後の影響甚大なら
びに急方に進展されて来た十二名
の娘につき直報を達してあるが、
原簿の進行につれて事件はますます
複雑大し北支、朝鮮方面に發展は
された娘は百人を突破すると見ら
れるに至り、府内各県では最近相
次ぐ誘拐事件と報告して事件を直
大視し、即座に密着して捜査を強
めるとともに同様の危険地帯に警戒
となつてゐるが、たゞ、事件に
よつて露出された農村娘と無行
に誘拐する悪徳となり、社会問
題としても一層に大きな不安を具

へてゐる
被害者の大部分は今回到郷せず
大多數が朝鮮地方の農村の郷で
主として養女と見做ると言は
れ、養女と見做し、中には
無料で養女出すなどの手段によ
つて無法な人身賣買が行はれて
ゐるもので、最近この種の行爲
を暴露するものも幾多してある
事實も判明するに至り、原簿
冊では巻頭と題してこれが結果を
導くこととなつた

「大阪朝日新聞・南鮮版」(1939
昭和14)年3月30日付)

婦女誘拐の一味 遂に送局さる

元釜山府臨時雇らの首魁

釜山府臨時雇丁百五十九
とともて身柄を盗取したが捕獲者
は金東勳ほか九名、起訴者十一
名、起訴者五名、起訴中止六名
不認者五十五名である

被害婦人は二十八名に上り、こ
のほか南洋方面に誘拐されたも
のも多数ある

臨時雇釜山府大森町四百五十九
番地金東勳(三)ほか七十七名に係
る釜山府、公文書盗取事件は昨
日検事は釜山府で取調中である
との同報談話、二十日一併起訴

釜山府、公文書盗取事件は昨
日検事は釜山府で取調中である
との同報談話、二十日一併起訴

釜山府、公文書盗取事件は昨
日検事は釜山府で取調中である
との同報談話、二十日一併起訴

【大阪朝日新聞・朝鮮版】(1939(昭和14)年11月21日付)

一家總掛りて 農村の娘を誘拐

十二名監禁中を逮捕

さきに京城東大門署で検挙した大誘拐事件を契機として府内各署で同様事件を探索中のところ果然と
のほど西大門署に被害者五十人と見られる誘拐事件が楯玉に擧げられた、京城府老姑山金奥萬(金)は一家五人で共謀、四年前から全鮮各地の農村家庭から舞女にすると稱して娘を譲り受け滿洲方面に賣飛ばしてゐたこと發覺、西大門署では時を移さず二十六日金奥萬ほか一名を逮捕したが、他の三人は風を食つて逃走したので同署で追及中

なほ檢査當時十二名の娘を監禁してをり、同署では被害者は少くとも五十人には上るものと見て可續き取調中

『大阪朝日新聞・南鮮版』(1939
〈昭和14年〉年3月28日付)

が急務であると思ふ、そして日滿に協力一致して興亞建設に邁進するため相互の貿易取引増進に努力したいと思ふ

貴婦人装ふ誘拐魔

男女四名を手下に使いひ

全鮮から小娘廿八名を誘拐

京城府内の周旋屋を轉々照應しに誘拐した娘の周旋料を盗いでゐた魔の手が、朝鮮國に轉移され府内の周旋業者を續々石換取録へ中であるが、自らは慶尙北道蔚山府李權植(李金順順)に就いて

同人は夫を捨て、京城に出奔、美娘の同女は市に賣婦人を買つて情夫大邱南山町李鎮玉(李)ほか四名の男女を使つて昭和十年十二月三十一日大邱驛の待合室から連れ出した大邱生れ李斗順(當時十七年)ほか全鮮にわたり

小娘二十八名を誘拐、首領自ら京城府内の周旋屋に出沒、小娘を照應しに轉々して、周旋料斗順ら最初十五圓で黄金町某に賣られた身代金は二十四圓目の最後の周旋屋で百五十圓に賣られてゐた

惡德紹介業者가 跋扈
農村婦女子을 誘拐

釜山刑事奉天에 急行

被害女性이 百名을 突破한다

【本報 釜山 31日 專電】 釜山 地方 警察廳 刑事部 奉天 支隊 警察官 李 某 等 人 報告 稱 釜山 地方 農村 婦女 誘拐 事件 發生 甚多 被害 女性 已 達 百 名 以上 現 已 派 警 赴 奉天 追緝 兇手 並 請 奉天 支隊 協助 緝捕 等 情 云 云

〔東亞日報〕(1939〈昭和14〉年8月31日付)

图 10

日帝 濟州서 위안부 205명 징발했었다

日本人수기 「나는 조선사람을 이렇게...」 파문



해방47주년을 맞아 일제시대에 거주하며 살았던 위안부들, 2년 5개월을 끌었던 그들의 고초와 아픔을 소개하고 있다. 이 책은 일본에서 일어난 일과 위안부들의 생애를 소개하고 있다.

42년 만의 해방이래까지 30년간의 위안부 생활을 소개한 《산고(山歌)》의 저자 김복희가 위안부 생활을 소개하고 있다. 「나는 조선사람을 이렇게 징발했다」가 그것으로, 위안부 205명 중 100여명의 생애를 소개한 책이다.

이 책은 「공주에서의 남자 강제연행」과 「제주도에서의 위안부 생활」에 대해서도 소개하고 있다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다.

이 책은 위안부들의 생애를 소개하고 있다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다.



위안부 생활의 고초와 아픔을 소개하고 있다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다.

위안부들의 생애를 소개하고 있다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다.

위안부들의 생애를 소개하고 있다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다.

주민들·날조... 日 몰염치·상술에 분개

저자는 당시 **아마구치현·도무보국회·통원부장**
·城山浦단추공장·용포·법랑리동서 강제징용·주장

내일을 모두 잡아 싣고 저의 속력을 높여 그곳을 떠났다. 높은 화력산 사이로 뿜어 올리는 불기둥이 하늘로 솟아올랐다. 그날 저녁에는 불기둥이 하늘로 솟아올랐다. 그날 저녁에는 불기둥이 하늘로 솟아올랐다.

저자의 간담을 서늘하게 할 만한 이야기가 소개된다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다. 위안부들의 생애를 소개하고 있다.

吉田著の韓国語訳への評記者による書評 (濟州新聞1989年8月14日)

図 11

